

学 校 沿 革

〈須知小学校〉		〈高原小学校〉	
明治		明治	
◆5年3月	須知村新町の前田九一朗氏別荘に尚綱堂を創設	◆6年4月	富田村字辻に日進校を創設
◆20年7月	須知尋常小学校と改称	◆20年7月	富田尋常小学校と改称
◆41年4月	須知尋常高等小学校と改称	大正	
昭和		◆10年3月	富田尋常高等小学校と改称
◆10年10月	昭和校舎に全面改築	◆12年3月	下山尋常高等小学校と合併し高原尋常高等小学校と改称
◆16年4月	須知国民学校と改称	昭和	
◆22年4月	須知町立須知小学校と改称	◆16年4月	高原国民学校と改称
◆30年4月	丹波町発足に伴い丹波町立須知小学校と改称	◆22年4月	高原村立高原小学校と改称
◆47年3月	創立100周年記念式典開催	◆30年4月	丹波町発足に伴い丹波町立高原小学校と改称
◆58年11月	全国学校体育優良学校表彰受賞	◆36年4月	昭和新社舎移転、落成式開催
平成		◆48年3月	創立100周年記念式典開催
◆9年10月	府・町教委指定「特別活動」パイロット校実践研究発表会開催	◆7年11月	府・町教委指定「道徳」教育実践推進校実践研究発表会開催
◆12年3月	閉校記念式典・感謝の集い開催（統合のため閉校）	◆12年3月	閉校記念式典・感謝の集い開催（統合のため閉校）
〈丹波ひかり小学校〉			
平成			
◆12年4月	丹波町立丹波ひかり小学校開校。同年10月、プール竣工		
◆13年4月	京都府小学校教育研究会体育科教育研究協力校（平13・14年度）		
◆14年4月	丹波町教育委員会指定教育実践推進校		
◆15年4月	文部科学省指定（学力向上フロンティアスクール）（平15・16年度）		
	京都府教育委員会指定（京都夢・未来校）（平15・16年度）		
11月	全国学校体育研究優良校表彰受賞		
◆16年1月	「京都夢・未来校」教育局別実践研究会開催		
◆17年4月	文部科学省指定「命の大切さを学ばせる体験活動」（平17・18年度）		
◆17年10月	京丹波町発足に伴い、京丹波町立丹波ひかり小学校と改称		
◆18年4月	文部科学省指定「コミュニティ・スクール推進事業」（平18・19年度）		
	京都府教育委員会指定「食に関する指導の実践モデル事業」（同）		
◆19年11月	文部科学省指定「コミュニティ・スクール推進事業」並びに京都府教育委員会指定「食に関する指導の実践モデル事業」学校運営協議会『地域響育学校』研究発表会開催		
◆20年4月	文部科学省指定「コミュニティ・スクール推進事業」（平20年度）		
	京丹波町教育委員会指定「教育実践推進校」（平20・21年度）		
◆21年4月	通級指導教室開設		
◆22年4月	通級指導教室増設		
	京丹波町教育委員会指定「教育実践推進校（国語）」並びに「コミュニティ・スクール推進事業」（平22・23年度）		

校 区 の 概 要

本校は、旧須知小学校と旧高原小学校が統合して平成12年4月に開校した。その後、平成17年10月に旧丹波町、旧瑞穂町、旧和知町が合併して京丹波町が発足し、以降、京丹波町立丹波ひかり小学校として歩んでいる。

校区は新しい住宅開発地域と旧来の農村型地域、かつて繁栄した山陰街道筋など、文化や歴史が異なる地域から構成されている。学校は開校以来、具体的な学校教育活動の展開をとおして、このような特色ある地域と多様な価値観を有する家庭を束ねる支柱としての役割を積極的に果たしていくことが求められてきた。そのために、本校は開校以来このような課題に対応すべき教育内容の創造に努めてきた。

今年度は、平成18年度に指定を受けた「コミュニティ・スクール推進事業」並びに「食に関する指導の実践モデル事業」実践の成果を引き継ぎ、伸ばし、広げるとともに、国語科を重点教科として、教育課題の解決に向けた教育活動を展開し、学校教育目標の実現を目指していきたい。